

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	御柱祭を契機とした「乙事学」プロジェクト
事業主体 (連絡先)	乙事区 諏訪郡富士見町乙事 5187
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,922,680円 円 (うち支援金: 1,498,000円)

事業内容

富士見町乙事区は長い歴史を持つ古村であり、先人の尽力により数多くの史跡や文化財を有しているが、世代間の伝承が途切れる危機に瀕す。「乙事学推進プロジェクトチーム」を結成。毎月の事業推進会議開催、聞き取り・文献調査、歴史史跡巡り、歴史家の先生によるお話し会を開催。乙事学お宝図鑑、乙事お宝(史跡)マップ、水利の文献とりまとめ、紙芝居を作成し、乙事区のホームページを立ち上げ。

乙事諏訪神社御柱小宮祭において、貫構法研究会と連携し、財産区の木を活用し集落景観を特徴づけている貫構法による木棧敷を設置。

3月12日に乙事学フォーラムを開催し活動成果を発信。

事業効果

- 乙事区の歴史・文化的資産を、乙事学お宝図鑑及び乙事お宝(史跡)マップとして約50の歴史・文化資産整理することができた。お話し会やフォーラム等活動プロセスに約2割の住民が参加し、地域の活性化につながった。先人が苦労して建設した通学路にかかる紙芝居を作成し、子供たち向けに歴史を発信する手法も整備した。
- 御柱小宮祭における貫構法の木棧敷の設置及び乙事地域の集落調査により、貫構法の建築が多く残されており、特徴的な集落景観を創り出していること、貫構法という伝統的工法を広く発信することができた。

今後の取り組み

本プロジェクトの成果を活用し、乙事区の公民館活動、こども育成会、地区社共等の活動と連携し、老若男女の方々に乙事区の歴史や文化を親しむ史跡巡りや紙芝居開催等のイベントを開催していく。これにより地域の世代間交流を図るとともに、歴史・文化の継承を通じ、乙事地域への愛着を高め、乙事地域を活性化する取り組みへ発展させていきたい。

また、石造物調査や他の分野での文献整理など、さらなる歴史・文化の継承の調査やとりまとめを行い、図鑑、マップ、ホームページの充実を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【歴史史跡巡りの様子】

【目標・ねらい】

- 乙事区の歴史資産の継承
- プロジェクトを通じた地域の世代間交流
- 伝統的工法の継承と発信

※自己評価【 A 】

【理由】

乙事の歴史・文化を図鑑、マップ、紙芝居、文献と多様な形でまとめることができた。地域内外の方たちに乙事区の魅力を発掘、共有し、乙事の良さを多くの方々に実感をしてもらうことができた。